

17-2 全数把握対象感染症（後天性免疫不全症候群を除く）患者等届出数

平成20年

二類感染症	三類感染症			四類感染症					五類感染症								
	細菌性赤痢	腸チフス	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	急性脳炎（※）	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	麻しん
結核			2[1]		1		6										1

資料：「感染症発生動向調査」

注：届出のあった疾患のみの記載である。

二類感染症の〔 〕内は無症状病原体保有者、（ ）内は疑似症患者で外書きである。

三類感染症及び四類感染症の〔 〕内は無症状病原体保有者で、外書きである。

※急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）